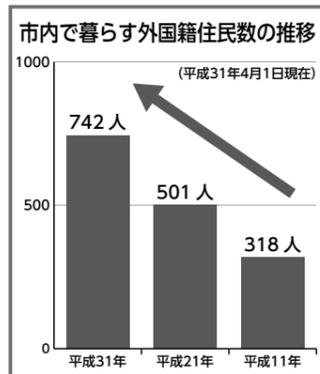


# 多様な生き方を認め合う男女がかがやき桶川

詳しくは☎人権・男女共同参画課 ☎788-4907

平成31年4月に出入国管理法が改正されたことにより、日本で働く外国人を対象に新たな在留資格が創設されました。このことにより、今後は日本で働く外国人労働者が大幅に増えることが予想されます。そこで、今回は「外国人」にスポットを当て、現状や課題を考えてみました。



## 男女共同参画基本計画では

市の基本計画では、施策の柱のひとつに「だれもが暮らしやすい社会づくり」として、『高齢者、障害者、外国人、生活に困窮した方々など、社会的に支援を必要とする人に各種サービスや相談体制の充実を図っていくことが必要』としています。

## 課題

外国籍の方は、仕事や生活など様々な場面において、文化や習慣の違いから困難を伴う場面が少なくありません。「言葉」においても日本語が理解できないことでコミュニケーション

ションをとりにくく、孤立してしまうことが考えられます。さらに、婚姻により日本に住する外国籍の女性は、在留資格更新時に日本人配偶者の同意を要するため、地位が不安定となり、弱い立場になりがちです。

## 安心した暮らしのために

このような状況の中で、外国籍の方が言葉の壁を乗り越えるための手助けとして、ボランティアによる日本語教室などが市内で開催されています。今後、増えていくことが予想される外国籍の方のために、同じ地域で暮らす私たちにできることは何かを一緒に考えてみましょう。

## 市民インタビュー

### 『日本語を通して』

長年、日本語の教師として、国内外で外国人の方々と関わってこられた柴野明德・たまの夫妻にお話を伺いました。



柴野たまのさん、明德さん

以前、お二人は外国に住んでいらしたそうですね。

夫妻▶はい。中国、アルゼンチン、タイで日本語を教えています。した。

妻▶慣れない外国生活で夫と協力して3人以上の力を発揮できたのではないかと思います。

夫妻▶日本語教師以外の活動は？

妻▶外国人と一緒に日本の小学校で、外国の文化を紹介するなど、国際理解を深める活動をしていました。

外国人と接する時のアドバイスをお願ひします。  
夫妻▶まず、相手の国の言葉でやさつをする事から始めたら良いと思います。

## 「男女共同参画学」、 「知る学ぶ考える」 私の人生私がつくる

今ではスマートフォンの無料翻訳アプリなど、相手とコミュニケーションをとるための、手軽で便利な機能を持つものが増えていきます。文化や習慣が異なるからこそ、相手のことを「知りたい」「学びたい」として「考えたい」気持ちを持つのではないのでしょうか。桶川で学んでいる外国人の意見からも、日本と外国の文化や考え方の違いを知ることができました。これからは、お互いを尊重し、理解を深めるような交流を、自分らしく始めてみませんか？

※「男女共同参画学」、「知る学ぶ考える私の人生私がつくる」…2019年度の男女共同参画週間(毎年6月23日～29日)のキャッチフレーズ

市では、男女共同参画を推進するため、「男女共同参画フォーラム(本誌16ページに記事掲載)」を、毎年開催しています。

## 「男女共同参画フォーラム」 に参加して

昨年8月、国立女性教育会館で開催された、男女共同参画フォーラムの特別講演に参加しました。講師は、ニコール・A・ゴードンさんです。

彼女は、GHQ民生局員として日本国憲法草案作成に携わり、第14条「法の下の平等」、第24条「両性の平等の原則」の条文の作成に大きな役割を果たした、ベアテ・シロタ・ゴードンの娘です。  
「母は5歳から日本に住み、封建的な家庭に縛られていた日本女性を解放するため、22歳の時に語学力を活かして草案作りに力を注ぎました。母の思いをぜひ次の世代に引き継いでください。」と話されました。

ベアテさんの生涯をたどる展示と、日本語で憲法草案に込めた思いを話す生前のビデオから、日本女性への強い思いに触れることができました。憲法で保障された男女平等という、ベアテさんからの贈り物を、今を生きるわたしたちは、大切にしなければならぬと思ひました。  
《編集委員》

市では、国や県などが主催する男女共同参画研修などに参加する際の費用の一部を助成しています。

## 市内で日本語を勉強している3つの団体10か国20人に聞きました



### Q1 出身国は？

- 台湾 5人
- ベトナム 4人
- 中国 3人
- タイ 2人
- その他 6人

### Q2 日本に来た理由

- 結婚 9人
- 仕事 8人
- 学校 2人
- その他 1人

### 自由意見より

- 夫婦は家事も平等。(台湾/50代/女)
- 日本では女性の家事・育児の負担が大きい。(アメリカ/50代/男)
- 女性の姓は結婚しても変わらない。(台湾/30代/男)
- ベトナムでは女性が結婚しても仕事を続けている。男性は料理も自分でする。(ベトナム/20代/男)
- 中国の男性は日本の男性より家事を手伝う。(中国/30代/女)
- 子どもの日本語の勉強にもっと力がかしてください。(フィリピン/50代/女)

### Q3 日本で男女差別を感じたことはありますか？

- ある 9人
- ない 8人
- 無回答 3人

### Q4 「ある」と感じた人のうち、どこで感じましたか？

- 職場 4人
- 家庭 3人
- その他 2人



## 女性相談

### ～フェミニストカウンセリング～

女性としての様々な悩み…  
仕事や職場、夫婦や子ども、友人や自分自身など、誰にも話せなかった悩みを話してみませんか？県外の女性相談専門のカウンセラーが相談をお受けします。  
とき▶毎月第2・4月曜日(原則) 予約制  
午前10時～正午、午後1時～4時  
相談時間は1人50分  
ところ▶市役所相談室

## 男女共同参画コーナー



市役所2階の男女共同参画コーナーアソシエでは、パネル展示や図書の貸出を行っています。あわせて、男女共同参画に関する意見交換の場としてご利用ください。

